

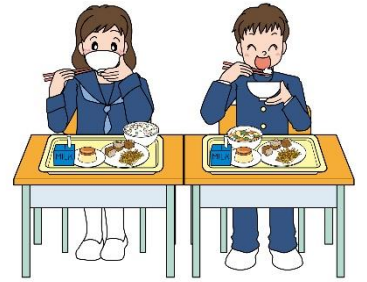


食育だより

令和4年1月6日発行 No.11
ひたちなか市立勝田第二中学校
<6月は食育月間・毎月19日は食育の日>

新しい年が始まりました。今年もよい一年にしたいですね。

さて、1月24日から1週間は「全国学校給食週間」です。そこで今月は、学校給食の役割や意義について見直してみましょう。



♡ 給食は勉強の時間です






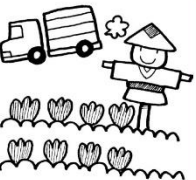
給食の時間は、皆さんが将来、健康に過ごせるように自分で献立を考えたり、作ったりできるようにするため、「食」について勉強する時間です。

給食が始まった頃は、子どもたちの栄養補給が一番の目的でした。

しかし現在の給食は、空腹を満たすためだけのものではありません。友達や先生と一緒に食事をしながら、健康を考えた食事のとり方を身に付けること、よりよい人間関係を築くこと、マナーを身に付けること等、給食の目的や役割は変わってきました。

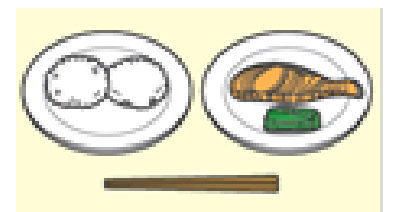
「今日の献立には、どんなねらいがあるのだろう…」と考えながら食べてみましょう。いつもと違うおいしさが見つかるかもしれませんね。

学校給食の7つの目標

<p>①適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。</p> 	<p>②日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。</p> 	<p>③学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。</p> 	<p>④食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p> 
<p>⑤食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。</p> 	<p>⑥我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。</p> 	<p>⑦食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。</p> 	<p>⑧食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。</p> 

♡ 給食の歴史

日本で最初に給食が始まったのは明治22年(1889年)のことです。山形県の小学校で、貧しくて生活に困っている児童を対象に昼食を出したことが始まりとされています。その後、全国各地で子どもたちの栄養改善のために給食が実施されるようになりました。



しかし、戦争が始まると学校給食は中断されてしまいます。



戦後、食料が不足して十分に食べる事ができないために、栄養失調状態だった日本の子どもたちを救うため、アメリカの民間団体やユニセフから物資が援助され、学校給食が再開されました。



昭和25年頃から、パン・ミルク・おかずのそろった「完全給食」が実施され、昭和39年以後、脱脂粉乳から牛乳に切り替わりました。

給食でソフトメンが提供されるようになったのは昭和35年頃、ご飯が提供されるようになったのは、昭和51年度以降のことです。

♡ 現在の給食

毎日の食事の参考になるよう、主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよい内容であることはもちろんのこと、地元の食材を活用したり、郷土料理や行事食を取り入れたり、外国の料理や食材を取り入れたりして、食事を楽しみながら、いろいろなことが学習できるように考えて作られています。

勝田二中の給食(写真)は、[勝田二中のホームページ](#) ⇒ [学校日記](#) ⇒ [給食日記](#)からご覧いただけます。